

## 相武台神社夏まつりは今年も中止に

7月24日(土)に予定されていた恒例の相武台神社夏まつりは、新型コロナウイルス拡大の影響により昨年に続き中止となりました。

そんな中、座間神社宮司を迎えて同神社氏子委員が参集し、夏季例大祭の式典のみが執り行われました。

神殿にて神主によるご祈祷に続き、氏子役員や団体代表者らが順次、厳かに玉串拝礼を行いました。

その後、神社境内の広場に場所を移し、神主の発声により参加者全員でコロナ感染症の早期収束と皆様のご健勝を願いご神酒で祈願しました。



参列者への奉上祈願

## 相武台地区社協「親子ふれあい教室」を開催

相武台地区社協(会長 加藤三郎)では、昨年に続き、児童(小学生以下)と保護者を対象とした『社協親子ふれあい教室とゲーム大会』を8月21日(土)相武台老人憩いの家で行いました。

近年、参加児童数が少なく心配しましたが、当日は保護者1名のほか9名の元気な子どもたちが参加してくれました。

新型コロナ緊急事態宣言の中、参加者は受付で消毒や検温およびマスクの着用と十分な間隔を取り、未開封の箸を使用するなど徹底した予防策をとっての開催となりました。また、当日は換気も十分でやや過ごし易い環境下でしたが、飲み物を先に配布することで日射病対策にも気を配りながらのスタートとなりました。



### ① 割り箸鉄砲の制作

鉄砲は低学年から高学年用の三種類にチャレンジしました。最初は指導員の説明を熱心に聞きながらの学童たちでしたが、やがて手順に慣れてきた子どもは、先取りして個々に作っていました。また、完成する都度、輪ゴムの弾を装着し天井めがけて試し打ちをしては性能をチェックしていました。



### ② 「まと」の制作

「まと」は、割り箸や厚紙と洗濯はさみを利用した簡単な構造なため、小さな児童もすぐに完成できました。色紙を使った「まと」の制作では、お母さんがハサミを器用に使い、可愛い蝶々やペンギンを即席で上手に切り抜きました。



### ③ 「まと」当てゲーム大会

ゲームコーナーは既設の仕切りカーテンやテーブルなどを利用し、「まと」は作品や小箱を積み上げた簡素なものをテーブルに並べただけでしたが、みな景品目当てに狙いを定めては撃ち落とし、熱気に満ちたゲーム大会となりました。



いっとき、時間を忘れての楽しいゲーム大会も、いつの間にか時間が過ぎ、帰りにはお弁当やお菓子など沢山のプレゼントを手に、足取りも軽く満面の笑顔で解散となりました。